

ホットペッパーグルメ



横浜市

『シェアバッグ「おいしい」と「もったいない」をシェアしよう』第二弾

～ 持ち帰りに賛成が87.6%、第一弾では飲食店からも前向きな声 ～

横浜市資源循環局は、株式会社リクルートライフスタイルが運営する飲食店予約・グルメ情報サイト「ホットペッパーグルメ」と共同で、「食品ロス」を削減するため、食べきれない料理を持ち帰るためのシェアバッグ利用を促進する企画『シェアバッグ「おいしい」と「もったいない」をシェアしよう』第二弾を実施します。

今回は最も外食回数が増える忘年会～歓送迎会シーズンを実施期間とし、店舗数や配布セット数を増やすことで、利用促進、食品ロス削減を目指します。

1 企画概要

平成30年2月に実施した第一弾の結果を踏まえ、期間を6か月に延長して実施します。今回は、シェアバッグ（持ち帰り用のボックスと紙袋）の他、持ち帰りができる飲食店であることを示すオリジナルPOPやステッカーを横浜市内の参画飲食店約150店舗に配布します。オリジナルPOPを店舗内に掲示し、さらに伝票渡し時などに飲食店スタッフから来店客へステッカーをお渡しすることで、持ち帰りができる飲食店であることを来店客へ伝え、食べきれなかった料理の持ち帰りを希望する来店客に「シェアバッグ」を無料配布します。



※ステッカーと第一弾のシェアバッグ

本件において「ホットペッパーグルメ」は、「シェアバッグ」制作や、飲食店への提案、特設ページの制作・運営、広報活動などを行い、横浜市は市民の皆様への広報を行います。

2 企画内容（第一弾との比較）

		第一弾	第二弾
企画内容	店舗数	約100店舗	約150店舗
	配布セット数	各店舗200セット	各店舗300セット
実施時期	時期	平成30年2月22日～4月30日	平成30年10月25日～平成31年4月30日
	期間	約2か月	約6か月
	ターゲット	歓送迎会など	忘年会・新年会・歓送迎会など
グッズ	袋	W260×D160×H280	W220×D120×H270
	箱	W200×D140×H65	W170×D80×H55
	ステッカー		伝票渡し時などに、持ち帰りができる飲食店であることを示すステッカーを渡す
対象店舗		横浜市 神奈川区・西区・中区の参画店舗	

※参画飲食店は『ホットペッパーグルメ』の特設サイト（9月26日プレオープン予定）に順次、掲載します。URL：<https://www.hotpepper.jp/doc/sharebag/>

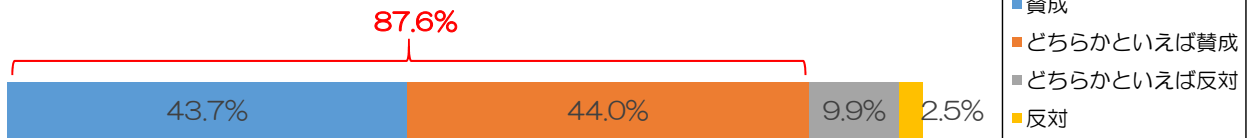
裏面あり

4 参考

シェアバッグ企画第一弾『シェアバッグ「おいしい」と「もったいない」をシェアしよう』の結果

国内で「食品ロス」削減の取り組みが広がる中、『ホットペッパーグルメ』では、2018年2月22日(木)~2018年4月30日(月)に、全国の市町村の中でも先駆けて「食品ロス」に関する取り組みを行っている横浜市と共同で、食べきれない料理を持ち帰るためのシェアバッグ（持ち帰り用のボックスと紙袋）を配布し、外食の持ち帰りを推進しました。その結果、横浜市内の飲食店約100店舗にシェアバッグが配布されました。飲食店からも「料理の廃棄量が減る」「カスタマーサービスにつながる」といった前向きな声をいただきました。また、「ホットペッパーグルメ外食総研」の調査では食べ切れない外食の持ち帰りに賛成する人が87.6%と非常に多いことがわかり、この度、第二弾を実施することが決定しました。

■外食で食べきれなかった料理の持ち帰りについての賛否 (n=10,134/単一回答)



※小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならないことをご了承ください。

「ホットペッパーグルメ外食総研」調べ

結果に関するお問合せ先 株式会社リクルートライフスタイル 田中 久美子 TEL 03-6835-2639

5 コンセプト

世界、そして日本でも深刻な「食品ロス」問題。日本の一人当たりの「食品ロス」の量は世界でもトップクラスで、飲食店でも、食べ残しによる「食品ロス」が出ています。これまでは、飲食店でどうしても料理が残ってしまった時、持って帰りたいな・・・と思っても、持ち帰ると言い出すのは気が引けてしまう、そんな空気がありました。『みんなが「おいしい」食事を大切な人とシェアし、同時に、持ち帰りを気兼ねなくできる空気「もったいない」という意識をみんなとシェアできる。そんな世界をこのシェアバッグを通して作りたい。』との思いから「シェアバッグ」を作りました。



お問合せ先		
資源循環局 3R 推進課長	江口 洋人	Tel 045-671-2563